

第2回 熊本市都市マスタープラン策定委員会 議事要旨

開催日時

平成29年2月3日(金) 14:30~16:00

開催場所

熊本市役所 11F 会議室

出席委員 7名

両角委員長、相藤委員、上山委員、佐藤委員、田中委員、原委員、松田委員
(欠席者:本間委員)

次第

1 開会

2 議事

第1回会議を踏まえた修正事項について
その他

3 閉会

配布資料

1 次第

2 資料1

3 資料2

4 参考資料

5 その他

議事要旨

<事務局から、議事 「第1回の会議を踏まえた修正事項」について説明を行った>

1. 省エネルギー対策について

(原委員)

低炭素等のエネルギー効率に関する記述が必要ではないか?例えば、資料2の2頁「第2次都市マスタープランの意義」の部分や、24頁「自動車利用の増加と公共交通利用者の減少」の部分に追記した方がよい。

資料2の94頁「住宅整備の方針」についても、住宅の省エネ化について記載できないか?

(事務局)

低炭素等のエネルギーに関する視点について、ご意見を踏まえ、再度検討したい。

2. 住宅について

(松田委員)

資料2の94頁「施策の体系」について、老朽化した住宅が密集している地域のオープンスペースの確保について記載されているが、合わせて緊急車両の通行確保についての記述を追記した方がよい。

資料２の９４頁「施策の体系」とでは、それぞれ住宅の耐震化について重複した内容の記載になっているため、まとめて記載した方がよい。

（事務局）

了解。

３．広域的な連携について

（佐藤委員）

九州の中央に位置するポテンシャルを踏まえた上で、大規模災害が発生した際の、熊本市の位置付け、役割について記載できないだろうか？

（両角委員長、事務局）

災害時における、国・県・市それぞれの立場があると考えられるため、熊本市が具体的にどのような事ができるのか、九州における熊本の役割や具体的な取組みを踏まえた上で、記載内容について検討したい。

４．陸海空の記載について

（上山委員）

陸（道路）に関する記載は多分にあるが、空や海に対する記載が必要ではないか？

（事務局）

海については、資料２の１１５頁「災害に強い都市基盤の形成」より、「県と連携し、熊本港の耐震強化岸壁の整備を促進します。」と記載している。

空については、現在記載事項が無いため、ご意見を踏まえ検討したい。

５．市民協働について

（相藤委員）

資料２の１２４頁「市民協働によるまちづくりの推進」について、市民等の役割として、自治会への参加や、自主防災クラブについて記載ができないだろうか？

（事務局）

ご意見を踏まえ検討したい。

６．都市づくりの基本的視点について

（原委員）

資料２の４５頁「消費の拡大を通じた地域経済等の活性化～」という表現は、分かりづらいため、表現方法について変更した方がよい。

（両角委員長）

単に「消費の拡大」というと、浪費拡大と誤解してしまう可能性もある。「観光事業の喚起や、交流人口の拡大による経済の活性化」等の表現はいかがか？

（事務局）

了解。

７．交通網の整備について

（田中委員）

資料２の８２頁「公共交通機関の利用促進のための交通網の整備方針」について、

交通の結節点としての内容についてもう少し記載した方がよい。

(原委員)

地域コミュニティ交通について、市民側の視点についても記載した方がよい。

(両角委員長)

資料2の82頁に「ロケーションシステムの推進」の記載があるが、具体的に記載した方がよい。

コミュニティ交通について、シェアリングシステム等の記載はできないだろうか。

(事務局)

交通結節点の記載については、資料2の82頁に「交通拠点や電停など～」等で記載しているところであるが、交通の要所となる場所の交通結節機能に関する記載について改めて検討したい。

了解。

ご意見を踏まえ、検討したい。

8. 都市の現況と課題について

(原委員)

資料2の24頁より、「公共交通事業者の経営悪化による～悪循環に陥っており、」の記載は見え消しになっているが、記載しておいた方がよい。

資料2の15頁より、「特に中心市街地では～20%を学生が占めており、」の記載は見え消しになっているが、記載しておいた方がよい。

資料2の16頁より、「日本の成長センター九州の中央で」と表記されているが、分かりにくいので、表現を変えた方がよい。

(両角委員長)

資料2の36頁より、「人口流出が懸念されています。」と記載されているが、「流出に伴う人材不足が懸念されています。」等の表現はいかがか？

(田中委員)

資料2の24頁「自動車利用の増加と公共交通利用者の減少」と、30頁「市街地の拡大、都市機能の郊外化と中心市街地の疲弊、都市活力の衰退」は、重複した内容となっているため、合わせて記載した方がよい。

(事務局)

了解。

9. 中心市街地、地域拠点の都市機能について

(両角委員長)

中心市街地及び地域拠点の都市機能について、「維持・確保」するのか、「集積」するのか、表現が一貫していないため整理する必要がある。

(事務局)

昨年策定した立地適正化計画の中では、都市機能を維持・確保するという表現で統一しているが、中心市街地については、熊本都市圏の中心でもある特別な地区であることから、集積という意味合いも含んでいる。表現については、立地適正化計画との整合が図れるように検討したい。

10．市街地整備の方針について

（松田委員）

資料2の89頁90頁「市街地整備の方針」について、防災に関する内容が少ないため、記載した方がよい。

（事務局）

了解。

11．市民・地域の災害対応力の強化について

（松田委員）

地域防災計画の見直しの中で、避難所運営マニュアルの見直しを行っているが、今後はこのマニュアルを活用した実践的な訓練も行うこととしている。そのため、資料2の118頁「災害対応力の強化」に、その内容について記載した方がよい。

（相藤委員）

資料2の118頁「地域住民が主体となり定める地域版ハザードマップ」との記載があるが、分かりやすい表現に変えたほうがよい。

資料2の118頁「市民の災害対応力の強化」の部分に、自主防災クラブについて記載した方がよい。

（事務局）

了解。

12．熊本駅周辺地区について

（原委員）

資料2の92頁「熊本駅周辺地区の現状及び市街地整備の方針」について、現状を整理し、記載内容について改めて整理した方がよい。

（事務局）

了解。

<事務局から、議事 「その他」について説明を行った>

13．次回会議について

（事務局）

- ・3月下旬ごろに第3回策定委員会を開催する予定。本日の会議後に、お気づきの点があれば、2月下旬までに都市政策課へお知らせいただきたい。

以上